

基礎教養科目群

科目コード	科目名	担当者	単位	種別	科専攻	開講期	必・選
PHR-O-L-4	信愛教育Ⅱ	阿久根政子	1	講義	全科	通年 (前期)	必修
授業の概要と キーワード	聖書や入門書等を用いて、建学の精神の基礎であるキリストの教えを学び、豊かな精神生活と人格向上を図るために、祈り、聖歌練習、ミサなどの宗教行事を通して、「こころの教育」をめざす。 【建学の精神、キリストの教え、人格向上、宗教行事、こころの教育】						
実務経験と 教授内容	修道生活での実務体験を生かし、聖書を通してキリストの教えを講義し、キリスト教的価値観とその生き方を体得する。			アクティブラーニング	グループワーク		
				地域の学修	該当なし		
関連する DP	【DP1】キリスト教的倫理観、教養・知識、汎用的技能						
学修成果の領域	学生の到達目標						
◎ 態度・志向	キリスト教的価値観に基づいた愛の実践を身に付ける。						
○ 知識・理解	聖書を通して、基本的なキリストの教えを理解する。						
△ 態度・志向	一人ひとりを大切にできる女性としての使命感を身につける。						
△ 態度・志向	周りの人々と良好な人間関係を構築するための行動ができる。						
回	授業のテーマ及び内容	各回 50分					
1	新約聖書<四つの福音書> キリストの基本方針	8	I イエスのたとえ話 ③ 放蕩息子 (ルカ15章) 1) 弟と父				
2	クラスミサ(前期中に実施) 聖歌練習・役割決め	9	放蕩息子 (ルカ15章) 2) 兄と父				
3	クラスミサ 意向<2年生の目標を目指して> 参加記録ノート提出	10	まとめ グループワーク (まとめのノート提出)				
4	聖書の物語に学ぶ I イエスのたとえ話 ① 迷い出た羊 (マタイ18章)	11	II キリストの奇跡 ① パンの奇跡 (マルコ 6章)				
5	② 善きサマリア人(ルカ10章)	12	② 盲人を癒す (ヨハネ 9章)				
6	聖母祭ミサの準備・聖歌練習 聖母マリアの生き方を学ぶ	13	③ 中風の人を癒す (マルコ2章)(マタイ9章)(ルカ5章)				
7	聖母祭ミサ ミサ参加記録ノート	14	特別講話 いのちの話				

科目コード	科目名	担当者	単位	種別	科専攻	開講期	必・選
PHR-O-L-4	信愛教育Ⅱ	阿久根政子	1	講義	全科	通年 (後期)	必修
回	授 業 の テ ー マ 及 び 内 容	各回 50分					
15	Ⅲ イエスに出会った人々のドラマ ① イエスに従う弟子たちのドラマ (マタイ4章)	22	イエスの受難 (2) ユダの裏切り・弟子たちの離散(ヨハネ22章)				
16	② 徴税人ザアカイ (ルカ19章) 救いのドラマ	23	イエスの受難 (3) 十字架上の七つの言葉				
17	③ 姦淫の女 (ヨハネ8章) いつくしみ深い神の許しのドラマ	24	クリスマスミサ ミサ参加記録ノート提出				
18	人間とは何か 神の似姿としての人間	25	イエスの復活 (1) マグダラのマリアへの出現(ヨハネ20章)				
19	人と共に生きる ・命の原点 ・人を人として	26	イエスの復活 (2) 弟子たちへの出現 (ルカ24章等)				
20	追悼祭ミサへの参加 参加記録ノート提出	27	わたしたちはどう生きるか 友、隣人、自由、私たちとなるために				
21	イエスの受難 (1) 最後の晩餐 (ヨハネ15章)	28	レポート作成・提出				
評価方法と基準	評価方法	領 域	評 価 の 観 点				割合
	課 題	知識・理解 態度・志向	(レポート課題) 授業のテーマ・内容等の事柄について理解しているか (ノート) 授業の項目に関して理解しようと努力しているか				30% 50%
	平 常 点	態度・志向	授業等、積極的に参加し、学ぼうとする姿勢が身についているか				10%
	そ の 他	態度・志向	行事等で皆と協力して行動できているか				10%
教 科 書	「新約聖書」「聖書入門」						
参 考 書	『賛美の歌』 (ミサ、朝礼時に使用)						
課題・試験等の フィードバック	次回の授業までにコメントを記入して返却する						
予習・復習の 内容と時間	前回の内容を復習し、予習として、次回の授業範囲のテキストを読んでおくこと (30分)						
免 許 ・ 資 格	保育士資格必修科目、認定ベビーシッター資格必修科目、 栄養士免許必修科目						
受 講 要 件 等	毎回「聖書」を持参すること						
オフィスアワー等	授業終了後、教室で質問等を受ける。						

科目コード	科目名	担当者	単位	種別	科専攻	開講期	必・選
PSY-5-L-2	心理学入門	森定美也子	2	講義	保育	前期	選択
授業の概要とキーワード	本講義では、子どもから大人までの障害や精神疾患などの事例集を通して、心理学的な人間理解、カウンセリングの技法や知識について学習する。 【カウンセリング 発達障害 精神医学】						
実務経験と教授内容	中学校のスクールカウンセラーや病院での勤務経験を有する教員が、事例を織り込みながら授業を行う。			アクティブラーニング	グループワーク		
				地域の学修	該当なし		
関連する DP	【DP1】キリスト教的倫理観、教養・知性、汎用的技能						
学修成果の領域	学生の到達目標						
◎ 技能・表現	人間心理を理解し、良好な人間関係を作ることができる。						
○ 知識・理解	心理学的基礎知識や障害、精神疾患を理解する。						
△ 思考・判断	論理的な思考を用いて人生の諸問題に取り組む。						
△ 態度・志向	相手の立場を尊重し、自らの意見を伝えることができる。						
回	授業のテーマ及び内容			各回 100分			
1	カウンセリング理論について カウンセリングの技法について学習する。			8	ADHD ADHD の事例を通してその心理や対応を理解する。		
2	メンタライジング理論について 対人関係に役立つ理論について学習する			9	愛着障害 愛着障害の事例を通して心理や対応を理解する。		
3	遊戯療法 遊戯療法についてスクイグル法を通して学ぶ。			10	神経症 神経症の事例を通して、心理や対応を理解する。		
4	芸術療法 芸術療法についてコラージュ法を通して学ぶ。			11	心身症 心身症の事例を通して、心理や対応を理解する。		
5	ダウン症 事例を通して、その心理や対応を理解する。			12	うつ病 事例を通して、その心理や対応を理解する。		
6	自閉症スペクトラム障害 1 事例を通して、その心理や対応を理解する。			13	統合失調症 事例を通して、その心理や対応を理解する。		
7	自閉症スペクトラム障害 2 事例を通して、その心理や対応を理解する。			14	まとめ		
評価方法と基準	評価方法	領域	評価の観点				割合
	課題	技能・表現	カウンセリングマインドについて学習する。				50%
	課題	知識・理解	障害や精神疾患について理解し、自分の考えを展開する。				30%
	課題	思考・判断	共感的理解について理解する。				10%
	平常点	態度・志向	積極的に学ぼうとする姿勢が身についているか				10%
教科書	「よくわかる障害児保育」尾崎康子・小林真・水内豊和・阿部美穂子 編 ミネルヴァ書房						
参考書	「光とともに 自閉症児を抱えて」戸部けいこ 著 秋田書店						
課題・試験等のフィードバック	次回の授業で、課題の中の特徴的な見解についてコメントする。						
予習・復習の内容と時間	予習として次回の課題部分の教科書を読む 60 分。 復習として授業ノートとプリントを見直す 180 分。						
免許・資格	該当なし						
受講要件等	保育の心理学Ⅰ、保育の心理学Ⅱを履修していること						
オフィスアワー等	授業終了後に教室で質問を受け付ける						

科目コード	科目名	担当者	単位	種別	科専攻	開講期	必・選
PSY-3-L-2	心理学入門	森定美也子	2	講義	食物	後期	選択
授業の概要とキーワード	本講義では、心理的なストレスや各発達段階の危機に焦点を当て、カウンセリングの技法や、障害者(児童)や高齢者の心理や援助について学習する。 【生涯発達 カウンセリング 発達障害】						
実務経験と教授内容	中学校のスクールカウンセラーや病院での勤務経験を有する教員が、事例を織り込みながら授業を行う。			アクティブラーニング	該当なし		
				地域の学修	該当なし		
関連する DP	【DP1】キリスト教的倫理観、教養・知性、汎用的技能						
学修成果の領域	学生の到達目標						
◎ 技能・表現	カウンセリングの技法を学び、人々と良好な人間関係を作る。						
○ 知識・理解	人間を理解するための心理学的基礎知識を学習する。						
△ 思考・判断	論理的な思考を用いて人生の各発達段階の問題に取り組む。						
△ 態度・志向	相手の立場を尊重し、自らの意見を伝えることができる。						
回	授業のテーマ及び内容			各回 100 分			
1	心理学の様々な領域 さまざまな領域の心理学について紹介する。		8	高齢者の介護と心理 2 認知症の原因や関わり方を学習する。			
2	人間関係の成り立ち 乳幼児期の基本的信頼感について学習する。		9	知的障害について ダウン症の原因や関わり方を学習する。			
3	人間の発達 1 乳幼児期の心理的課題と危機を学習する。		10	発達障害について 1 自閉症の原因について学習する。			
4	人間の発達 2 青年期の心理的課題と危機について学習する。		11	発達障害について 2 軽度の自閉症の対応について学習する。			
5	人間の発達 3 成人期の心理的課題と危機について学習する。		12	発達障害について 4 注意欠陥多動性障害 (ADHD) を学習する。			
6	人間の発達 4 老年期の心理的課題と死の受容を学習する。		13	心の病気の理解と対応の仕方 うつ病などの心の病気について学習する。			
7	高齢者の介護と心理 1 高齢者の介護や施設の様子について学習する。		14	カウンセリングの基礎知識 カウンセリングの技法について学習する。			
評価方法と基準	評価方法	領域	評価の観点				割合
	期末試験	技能・表現	カウンセリングの技法を学ぶ。				50%
	期末試験	知識・理解	心の基礎や各発達段階の課題について理解する。				30%
	課題	思考・判断	乳幼児の心理について理解し、自分の意見を考察できているか				10%
	平常点	態度・志向	積極的に学ぼうとする姿勢が身についているか				10%
教科書	「手にとるように発達心理学がわかる本」小野寺敦子 著 かんき出版						
参考書	「光とともに 自閉症児を抱えて」戸部けいこ 著 秋田書店						
課題・試験等のフィードバック	次回の授業で、課題の中の特徴的な見解についてコメントする。						
予習・復習の内容と時間	予習として次回の課題部分の教科書を読む 60 分。 復習として授業ノートとプリントを見直す、課題としてレポートを作成する 180 分。						
免許・資格	医療秘書実務士選択必修科目						
受講要件等	特になし						
オフィスアワー等	授業終了後に教室で質問を受け付ける						

科目コード	科目名	担当者	単位	種別	科専攻	開講期	必・選
PSY-1-L-3	人間関係論	山本 桂子	2	講義	生文	後期	選択
授業の概要とキーワード	毎日の学校や職場、地域など、生活のあらゆる場面で人間関係を良好にするためにどのようなことができるのか、コミュニケーションの技法をレクチャーするとともに、ワークシートを使用した学習の場を提供する。【コミュニケーション、聞く力、話す力、人間力】						
実務経験と教授内容	企業や行政機関でのキャリアカウンセリングの実務経験を有する教員がコミュニケーション重視の授業を行う。			アクティブラーニング	グループワーク		
				地域の学修	該当なし		
関連する DP	【DP1】キリスト教的倫理感、教養・知性、汎用的技能						
学修成果の領域	学生の到達目標						
◎ 技能・表現	聞く力、話す力を駆使し他者と円滑なコミュニケーションがとれる						
○ 知識・理解	聞く力、話す力、人間力に関する知識が身についている						
△ 思考・判断	他者の立場に立ち相互理解を深めようとする事ができる						
△ 態度・志向	積極的に他者と関わる姿勢が身についている						
回	授業のテーマ及び内容			各回 100 分			
1	オリエンテーション 社会に必要なコミュニケーション力			8	話すことの重要性 聞き手に伝わる話し方		
2	社会人基礎力とは何か 実際の場面を想定したワーク			9	他者との違いを知る 色彩心理を活用したコミュニケーションワーク		
3	チーム活動におけるコミュニケーション チーム活動とは			10	人間力とは 社会における人間力の重要性		
4	授業に必要なコミュニケーション アクティブ・ラーニングの技法			11	発表力を磨こう(1) 発表とプレゼンテーション		
5	チーム活動実践 折り鶴ワークで協働を学ぶ			12	発表力を磨こう(2) プレゼンテーションの準備		
6	会話力を磨こう コミュニケーションの3要素			13	発表力を磨こう(3) プレゼンテーション実践と振り返り		
7	聞くことの重要性 傾聴のスキル			14	振り返りとまとめ		
評価方法と基準	評価方法	領域	評価の観点				割合
	課題	技能・表現	授業内のグループプレゼンで自身の役割を理解し果たしているか				50%
	小テスト	知識・理解	聞く力、話す力に関する知識を身に付けているか				30%
	平常点	思考・判断 態度・志向	グループワークを通して自己理解、他者理解に努めているか 積極的に他者と関わろうとしているか				10% 10%
教科書	『アクティブ・ラーニングで身に付ける コミュニケーション力 聞く力・話す力・人間力』 切田節子 ほか共著 近代科学者						
参考書	必要に応じて適宜紹介する						
課題・試験等のフィードバック	グループプレゼンテーションでは評価シートを使用し、フィードバックを行う。 小テストは採点后解答例を配布する。						
予習・復習の内容と時間	テキストの予習、復習(120分) 配布資料の予習、復習(120分)						
免許・資格	秘書士・上級秘書士・情報処理士・上級情報処理士 選択必修科目						
受講要件等	特になし						
オフィスアワー等	授業終了後に教室で対応。別途時間が必要な場合は個別に時間を取り決め研究室で対応。						

科目コード	科目名	担当者	単位	種別	科専攻	開講期	必・選
KEP-0-L-2	地域経済論	濱田智司	2	講義	全科	前期	選択
授業の概要とキーワード	地域経済を支える“まち”の過去・現在・未来について学ぶ科目である。“まち”の生い立ち、中心市街地の空洞化といった過去の事象から、現在どのような問題が生じているかを考えていく。そして、今後期待される“まちづくり”のあり方について、「コンパクトシティ」や「リノベーションまちづくり」等の解説を行いながら学びを深める【まちづくり、リノベーション、中心市街地】						
実務経験と教授内容	地元経営コンサルタントとしてまちづくりに携わる者が講義を行う。地域のまちづくり担当者を招聘しその実体験を聴く。			アクティブラーニング	グループワーク		
				地域の学修	○		
関連する DP	【DP1】キリスト教的倫理観、教養・知性、汎用的技能						
学修成果の領域	学生の到達目標						
◎ 知識・理解	まちづくりの現状や発展の歴史、街づくりの具体的手法等を理解する						
○ 思考・判断	明確な解決策が無いまちづくりにどうやって対応していくかを学ぶ						
△ 態度・志向	学ぶという意識を明確に持てるか						
△ 態度・志向	地域経済への私たちの持つ責任を理解する						
回	授業のテーマ及び内容			各回 100分			
1	【戦後日本経済の変遷とまちづくりの現状】戦後日本経済の変遷とまちづくりの現状を概観する。			8	【先進事例研究②】長野県飯田市のまちづくり事例を学ぶ。		
2	【和歌山経済の変遷①】維新後の和歌山市の状況を概観し、街の成立の歴史的経緯を学ぶ。			9	【先進事例研究③】高松市丸亀町商店街のまちづくり事例を学ぶ。		
3	【和歌山経済の変遷②】和歌山の経済的な特徴を概観し、高齢化率や県内生産性の低下等の現状を学ぶ。			10	【リノベーションまちづくり①】リノベーションまちづくりとは何かを学ぶ。		
4	【国のまちづくり施策①】まちづくりに必要な5つの視点や役割、要素等を学ぶ。			11	【リノベーションまちづくり②】リノベーションまちづくりとは何かを学ぶ。		
5	【県と市のまちづくり施策】街づくり関連法制度等、街の衰退に対し県や市が行ってきた施策等を学ぶ。			12	【リノベーションまちづくりと和歌山】リノベーションまちづくりの和歌山での取り組み状況を学ぶ。		
6	【市民有志や学生の参画】「2030 わかやま構想」の概要について市民有志や学生の参画状況を概観する。			13	【まちづくり担当者の話を聴く】リノベーションまちづくりに関し、和歌山で活躍されている人物の体験談を聴く。		
7	【先進事例研究①】和歌山県湯浅町のまちづくり事例を学ぶ。			14	【あなたの作るまちづくり案】他人事では済まされないまちづくりについてグループワークを通し、自らの作るまちづくり案を考えていく。		
評価方法と基準	評価方法	領域	評価の観点				割合
	期末試験	知識・理解	まちづくりに関わる事実を頭に入れ物事を考えているか				30%
		思考・判断	危機意識を感じ、自らが実施可能な対策を考えることができているか				20%
	課題	知識・理解	まちづくりに関わる事実を頭に入れ物事を考えているか				20%
思考・判断		危機意識を感じ、自らが実施可能な対策を考えることができているか				10%	
平常点	態度・志向	積極的に学ぼうという姿勢が身についているか				20%	
教科書	リノベーションまちづくり 清水義次著 学芸出版社刊						
参考書	特になし						
課題・試験等のフィードバック	課題についてのフィードバックは、その後の授業において、関連する内容をテーマに取り上げ講義を行う。質問事項については、その講義時間中に本人の理解度に応じ回答する。						
予習・復習の内容と時間	学んだことについて、インターネットや教科書等で復習を行う。特に、インターネットでの検索において、まちづくり事例については、収集をして学習の参考にできるようにする。(240分)						
免許・資格	該当なし						
受講要件等	特になし						
オフィスアワー等	授業終了後に教室で質問を受け付ける						

科目コード	科目名	担当者	単位	種別	科専攻	開講期	必・選
KEH-0-L-2	紀の国の食文化	藤澤祥子	2	講義	全科	前期	選択
授業の概要とキーワード	紀伊国・和歌山の食文化は、温暖な気候と縦長の地形により、豊かな沢山の文化が生まれ育っている。川・山・海の文化がそれに拍車をかけ宗教風土も加わり、持ちきれんばかりの素晴らしい「食文化」が存在していることを理解する。【行事食 郷土料理 伝承】						
実務経験と教授内容	紀の国の食文化を学ぶことにより、地域で伝承に力を注ぐ人達の声もきき、恵まれた地産食材と生産地である郷土のこれからのあり方について授業を行う。			アクティブラーニング	グループワーク		
				地域の学修	○		
関連する DP	【DP1】キリスト教的倫理観、教養・知性、汎用的技能						
学修成果の領域	学生の到達目標						
◎ 知識・理解	紀の国の食文化について地域的区分の中で歴史的背景も合わせて理解する。						
○ 思考・判断	紀の国の食文化の価値を希薄になりつつある伝承の問題について分析できる。						
△ 態度・志向	食文化として行事食や郷土料理そして日常食の価値を考察することができる。						
△ 態度・志向	食文化のこれからの考え伝承すべき事項について意欲的に考える姿勢が身についている。						
回	授業のテーマ及び内容			各回 100分			
1	ガイダンス 具体的授業の進め方と目標について説明			8	熊野の食文化 山間と灘		
2	和歌山(紀の国)の食とその背景			9	熊野の食 伝承される味覚		
3	食文化の伝承と現状			10	太地の食文化(鯨)		
4	紀の川流域の食文化			11	田辺湾の魚と食文化		
5	紀の川流域の食 伝承される味覚			12	宗教風土と食文化 熊野と高野山		
6	和歌浦沿岸の食文化			13	食文化の伝承の必要性和方法		
7	和歌浦沿岸の食 伝承される味覚			14	まとめ		
評価方法と基準	評価方法	領域	評価の観点				割合
	期末試験	知識・理解	紀の国の食文化を歴史的背景と共に理解できたか				50%
		思考・判断	行事食や郷土料理の食文化としての価値について理解できたか				30%
	平常点	態度・志向	前向きな受講態度で学習できたか				10%
その他	態度・志向	希薄になりつつある食文化の伝承について解決策は考えられたか				10%	
教科書	特になし 必要に応じて適宜資料を配布						
参考書	社団法人 農村漁村文化協会発行「日本の食生活全集 和歌山の食事」安藤精一編						
課題・試験等のフィードバック	定期試験終了後、解説の時間を設ける						
予習・復習の内容と時間	予習:前もって配布した資料(プリント)を事前に読んでおくこと(120分) 復習:本学の授業ノートを見直しておく(120分)						
免許・資格	フードコーディネーター3級必修科目						
受講要件等	特になし						
オフィスアワー等	授業終了後に教室で質問を受け付ける						

科目コード	科目名	担当者	単位	種別	科専攻	開講期	必・選
KCS-O-L-2	地域子育て・子育て支援論	阪田由美子	2	講義	保育	前期	選択
授業の概要とキーワード	<p>本科目は、和歌山県を中心とした地域の子育て・子育て支援について解説し、専門的知識を身につけて地域貢献ができる人材育成を目指す。厚生労働省が参考として示すファミリー・サポート・センターの提供会員への講習と同等の内容を満たしている授業である(和歌山県福祉保健部認定)。 【ファミリーサポート 子育て支援員 ワンオペ育児 アウェイ育児 保育の無償化】</p>						
実務経験と教授内容	地域の子育て支援経験者が子育て・子育て支援の現状を教授する。(ゲストスピーカーも含む)	アクティブラーニング	フィールドワーク				
関連する DP	【DP1】キリスト教的倫理観、教養・知識、汎用的技能						
学修成果の領域	学生の到達目標						
◎ 知識・理解	和歌山を中心とした子育て・子育ての現状や和歌山の資源を理解する。						
○ 思考・判断	地域の子育て課題について考察することができ、意欲が芽生える。						
△ 態度・志向	積極的に授業に取り組むことができ、実務につながるイメージができる。						
△ 態度・志向	社会からの期待を感じ取り将来に向けての自覚が芽生える。						
回	授業のテーマ及び内容	各回 100分					
1	オリエンテーション・保育のこころ・子どもの遊び I	8	安全と事故対応(応急処置)				
2	子育てをめぐる現状と課題について 子育て支援施設見学	9	安全と事故対応対策				
3	子どもの健やかな発達について 親子ふれあい体験	10	子どもの世話 講義と実践：				
4	子どもの発達と発達障がい 親子ふれあい体験	11	子どもの栄養と食生活(子どもの発達段階に応じた摂食機能の発達)				
5	子どもの豊かな育ちのための保護者支援 親子ふれあい体験	12	子どもの栄養と食生活(子どもの食物アレルギー)				
6	子どもの病気(感染する病気・急を要する病気) 病院への受診について	13	子どもの遊び 実践				
7	子どもの看護のポイントと家庭での工夫	14	和歌山の子育てと未来				
評価方法と基準	評価方法	領域	評価の観点				割合
	期末試験	知識・理解 思考・判断	和歌山の子育て・子育て・環境や資源を理解しているか。 問題解決の適切な対処法・選択・判断できるか。				30% 20%
	課題	知識・理解	子育て支援施設を見学し、レポート作成できるか。				30%
	平常点	態度・志向	積極的に授業に取り組むことができたか。				10%
	その他	態度・志向	社会からの期待を感じ取り将来に向けて自覚や責任感が芽生えたか。				10%
教科書	使用しない。適宜資料を配布する。						
参考書	「子育て支援の環境づくり」高山静子著/エイデル研究所「育つ・つながる子育て支援」高山静子他著/チャイルド本社・「子ども子育て新制度活用・改善ハンドブック」石原剛志他著/保育研究所						
課題・試験等のフィードバック	課題についての具体例を授業中に提案する。課題は次の授業でコメントをつけて返却する。期末試験終了後、模範解答を配布する。						
予習・復習の内容と時間	自主的に学内子育て支援施設または地域資源(子育て関連)に興味を持ち、見学すること。見学してわからないこと、気づいたことを調べ、授業後で質問できるようにする。240分						
免許・資格	子育て・子育てサポーター認定資格必修科目						
受講要件等	地域の子育て支援や地域貢献に興味をもっている、または知りたいと思っている。						
オフィスアワー等	授業終了後に教室で質問を受け付ける						

科目コード	科目名	担当者	単位	種別	科専攻	開講期	必・選
KSO-0-L-2	地域社会学	伊藤 宏	2	講義	全科	前期	選択
授業の概要とキーワード	個人の誕生から関わる家族集団を出発点とし、様々な社会集団について学んでいく。その中で、特に和歌山県の地域社会に着目し、地域振興や防災、コミュニティのあり方、和歌山県における過疎化等の問題などについて考察する。【防災、地域振興、社会問題、和歌山県の特徴】						
実務経験と教授内容	新聞記者・フリーランス記者・ミニコミ発行の経験のある担当教員が社会問題の具体例について解説			アクティブラーニング	調査学習		
				地域の学修	○		
関連する DP	【DP1】キリスト教的倫理観、教養・知識、汎用的技能						
学修成果の領域	学生の到達目標						
◎ 知識・理解	地域社会への学問的アプローチができるようになる。						
○ 思考・判断	身近な地域の問題を社会的に捉え解決策を提案できる。						
△ 態度・志向	地域社会における自分の役割を考えることができる。						
△ 態度・志向	遅刻や無断欠席をせず、課題などをきちんとこなすことができる。						
回	授業のテーマ及び内容			各回 100 分			
1	はじめに（個人と社会）			8	和歌山県の危機 地場産業の衰退と過疎		
2	社会学とは何か その目的と、学ぶことの意義			9	地域振興とコミュニティ 和歌山県における町おこし		
3	社会集団とは何か 集団の分類			10	コミュニティ・ビジネス その可能性と問題点		
4	基礎集団 家族集団とコミュニティ			11	災害と地域社会① 東日本大震災後の防災対策		
5	機能集団 組織とはどういうものか			12	災害と地域社会② 南海トラフ地震にどう備えるか		
6	地域集団 都市化と地域社会			13	災害と地域社会③ 災害後の避難と復興		
7	和歌山県の実態 産業構造の高度化の影響			14	まとめ 和歌山県で生きるということ		
評価方法と基準	評価方法	領域	評価の観点				割合
	期末試験	知識・理解	地域社会の様々な問題について自身の考えを述べることができるか。				60%
	課題	思考・判断	身近な地域社会の課題についての的確な考察をして回答ができるか。				30%
	平常点	態度・志向	積極的に学ぼうとする姿勢が身についているか。				10%
教科書	特に指定はせず、講義毎にプリントを配布する。						
参考書	田中きよむ他著『限界集落の生活と地域づくり』晃洋書房 熊倉功夫監修・米谷武文編『農の6次産業化と地域振興』春風社						
課題・試験等のフィードバック	次回の授業で、提出された課題の内容についてコメントする。						
予習・復習の内容と時間	配布されたプリントならびに授業ノートの内容について十分に復習すること 240 分						
免許・資格	上級秘書士・上級秘書士（メディカル秘書）・情報処理士・上級情報処理士選択必修科目						
受講要件等	特になし						
オフィスアワー等	事前に予約を受けた上で 1207(入試部長室)もしくは 1504(研究室)で質問等に対応する。						

科目コード	科目名	担当者	単位	種別	科専攻	開講期	必・選
PUL-5-L-1	日本国憲法	奥野庸己	2	講義	保育	後期	選択
授業の概要とキーワード	日本国憲法が規定する「基本的人権」についての体系と内容について学習するとともに、国民の基本的人権を保障するための統治機構（国会、内閣、裁判所、地方自治）について学習する。憲法の意義とその日本社会における働きを把握し、日本国憲法に関する基本的知識を習得することを目標とする。【個人の尊厳、基本的人権、国民主権、平和主義、三権分立】						
実務経験と教授内容	弁護士実務に就いている者が憲法が保障する「基本的人権」と保障するための制度について教授する。	アクティブラーニング	該当なし				
		地域の学修	該当なし				
関連する DP	【DP2】専門的知識・理解						
学修成果の領域	学生の到達目標						
◎ 知識・理解	基本的人権について理解し教育現場に反映させる能力を習得する						
○ 知識・理解	日本国憲法について基本的な知識を習得する。						
△ 態度・志向	積極的に授業に取り組むことが出来る。						
△ 態度・志向	日本国憲法の知識を社会生活に反映させる能力を習得する						
回	授業のテーマ及び内容	各回 100分					
1	憲法総論：一般的な憲法の歴史と基本原理をふまえ、日本国憲法の成立過程・構造・基本原理を学ぶ。	8	基本的人権の保障 7：生存権、教育を受ける権利などの社会権について意義・内容を学ぶ。				
2	基本的人権の保障 1：人権の歴史、類型、保障の範囲など人権に関して概要を学ぶ。	9	基本的人権の保障 8：適正手続きの保障などの人身の自由、国務請求権、参政権についてその意義・内容について学ぶ。				
3	基本的人権の保障 2：包括的な人権とされる幸福追求権と法の下での平等についてどのように保障されているか学ぶ。	10	統治 1：日本国憲法における国の政治システムである統治の基本原則について学ぶ。				
4	基本的人権の保障 3：精神的自由権の総論と精神的自由権のうち、思想・良心の自由について学ぶ。	11	統治 2：三権のうち立法権の意味・概念、及びそれを担う国会の地位、組織、権能について学ぶ。				
5	基本的人権の保障 4：精神的自由権のうち、信教の自由、学問の自由について学ぶ。	12	統治 3：三権のうち行政権の意味・概念、及びそれを担う内閣の組織と権能、その他制度について学ぶ。				
6	基本的人権の保障 5：表現の自由及び関連する事項について、その意義や重要性について学ぶ。	13	統治 3：三権のうち司法権の意味・概念、それを担う裁判所の組織と特質、違憲審査制度について学ぶ。				
7	基本的人権の保障 6：職業選択の自由、居住移転の自由、財産権などの経済的自由権の内容・意義について学ぶ。	14	統治 4：税や予算といった国家の財政と地方自治制度の内容、問題点について学ぶ。これまでの授業内容を振り返る。				
評価方法と基準	評価方法	領域	評価の観点				割合
	定期試験	知識・理解	基本的人権の内容や統治機構について基礎知識を習得できているか				40%
		知識・理解	憲法の存在意義等基本的事項について理解できているか。憲法・日本国憲法について基本的知識の習得及び基本的事項の理解できているか。				40%
	平常点	態度・志向	授業において教員から学生対し行われた質問、問いかけ等に対し積極的に回答・発言を行う等積極的な態度で授業に取り組めたか。				10%
態度・志向		主体的に学習できていたか。				10%	
教科書	使用しない。適宜資料を配布する。						
参考書	「日本国憲法論」(佐藤幸治著・成文堂)、「憲法主義」(南野森著・PHP 研究所)「憲法ってなんだろう」(奈良弁護士会作成)その他、適宜資料を配布する。						
課題・試験等のフィードバック	自習用課題及び回答の配布を行う。						
予習・復習の内容と時間	与えられた課題を行う。授業のノートの見直しなどで復習を行う。120分 次回授業の範囲の参考文献等を通読するなど予習を行う。120分						
免許・資格	幼稚園教諭 2 種免許状必修科目						
受講要件等	該当なし						
オフィスアワー等	授業終了後に教室で質問を受け付ける						

科目コード	科目名	担当者	単位	種別	科専攻	開講期	必・選
INF-1-L-4	情報文化論	伊藤 宏	2	講義	生文	後期	選択
授業の概要とキーワード	<p>情報文化という言葉は、現代社会の特徴や状況を表現する言葉としてよく用いられる。本講義では、主にサブカルチャーとして扱われてきたマンガやアニメーション、特撮などを題材として、それらが社会に与えてきた影響、それらに反映された社会の姿を検証していく。</p> <p>【流行、特撮、アニメ、メディアミックス】</p>						
実務経験と教授内容	新聞記者・フリーランス記者・ミニコミ発行の経験のある担当教員が現代社会の情報文化的側面について解説			アクティブラーニング	調査学習		
				地域の学修	該当なし		
関連する DP	【DP1】キリスト教的倫理観、教養・知識、汎用的技能						
学修成果の領域	学生の到達目標						
◎ 技能・表現	情報の内容分析を通じて現代の社会状況を説明することができる。						
○ 知識・理解	情報と文化・現代社会との関連性を理解することができる。						
△ 態度・志向	現代の社会状況を自分なりに捉え、考察することができる。						
△ 態度・思考	社会生活の様々な場面で情報を活用することができる。						
回	授業のテーマ及び内容			各回 100 分			
1	はじめに 情報文化の考え方・クールジャパンとは？			8	アニメーションに描かれた社会 学生が選んだ作品についての分析		
2	日本のサブカルチャー史			9	日本のアニメーション技術史 ジブリ作品を中心に		
3	メディア研究手法としての内容分析			10	マンガに描かれた社会 学生が選んだ作品についての分析		
4	「子ども向け」メディア情報の概観 映画、テレビ、マンガの世界			11	情報文化と商品経済 流行の作り出され方		
5	特撮映画に描かれた社会 『ゴジラ』と東宝特撮映画を中心に			12	情報文化と社会運動 ゴジラ・ナウシカと原子力		
6	特撮テレビに描かれた社会 ウルトラマンと仮面ライダーシリーズを中心に			13	情報文化と女性 特撮に登場する女性たち		
7	日本の特撮技術史			14	まとめ クールジャパンの今後		
評価方法と基準	評価方法	領 域	評 価 の 観 点				割合
	期 末 試 験	技能・表現	情報化社会の文化的側面について自身の考えを述べることができるか。				60%
	課 題	知識・理解	情報と文化・現代社会の関連についての的確な考察をして回答ができるか。				30%
	平 常 点	態度・志向	情報と社会生活について積極的に学ぼうとする姿勢が身についているか。				10%
教科書	特に指定はせず、講義毎にプリントを配布する。						
参考書	原寿雄『市民社会とメディア』リベルタ出版 中沢健『平成特撮時代』洋泉社						
課題・試験等のフィードバック	次回の授業で、提出された課題の内容についてコメントする。						
予習・復習の内容と時間	配布されたプリントならびに授業ノートの内容について十分に復習すること 240 分						
免許・資格	上級秘書士・上級秘書士（メディカル秘書）・情報処理士・上級情報処理士選択必修科目						
受講要件等	特になし						
オフィスアワー等	事前に予約を受けた上で 1207(入試部長室)もしくは 1504(研究室)で質問等に対応する。						

科目コード	科目名	担当者	単位	種別	科専攻	開講期	必・選
INF-5-L-3	情報処理演習	中西淳平	2	演習	保育	後期	選択
授業の概要とキーワード	インターネットを活用した情報の収集方法やワードプロセッサによる論文とレポートの作成方法、表計算ソフトウェアによるデータ処理などに必要なコンピュータリテラシーについて学習する。 【データサイエンス、コンピュータ、Windows、Word、Excel】						
実務経験と教授内容	該当なし			アクティブラーニング	実践演習		
				地域の学修	該当なし		
関連する DP	【DP1】キリスト教的倫理観、教養・知性、汎用的技能						
学修成果の領域	学生の到達目標						
◎ 技能・表現	積極的に情報機器を操作して必要な情報加工ができる						
○ 技能・表現	技能習得に向けて努力ができる						
△ 知識・理解	基礎知識と基本操作を着実に獲得している						
△ 態度・志向	求められていることを把握し、その実現に努力できる						
回	授業のテーマ及び内容			各回 100 分			
1	オリエンテーション			8	Excel による表の作成		
2	Word による基本文書作成			9	相対参照と絶対参照		
3	文書の編集1:文字の大きさ、フォントの変更、下線を引く			10	数値関数		
4	文書の編集2:箇条書き			11	グラフ作成		
5	Word による表の作成			12	IF 関数(条件分岐)		
6	体裁のよい文書作成			13	体裁のよい表の作成		
7	課題1:読みやすく分かりやすい文書作成・編集			14	課題2:分かりやすく視覚化した表作成・編集		
評価方法と基準	評価方法	領域	評価の観点				割合
	課題	技能・表現	積極的に情報機器を操作して必要な情報加工ができるか				50%
		知識・理解	基礎知識と基本操作を着実に獲得しているか				10%
	平常点	技能・表現	技能習得に向けて努力ができるか				30%
態度・志向		求められていることを把握し、その実現に努力できるか				10%	
教科書	授業時にプリントを配付する						
参考書	定平誠著「例題 50 + 演習問題 100 でしっかり学ぶ Word/Excel/PowerPoint 標準テキスト Windows10/Office2019 対応版」技術評論社						
課題・試験等のフィードバック	課題を次回の授業でコメントをつけて解説する						
予習・復習の内容と時間	授業時に課した演習問題を完成させる 120 分 授業内容を振り返り、次回の授業に備えておく 120 分						
免許・資格	幼稚園教諭 2 種免許状必修科目						
受講要件等	特になし						
オフィスアワー等	毎週金曜日の昼休み						

科目コード	科目名	担当者	単位	種別	科専攻	開講期	必・選
INF-3-L-3	情報処理演習	中西淳平	2	演習	食物	前期	選択
授業の概要とキーワード	表計算ソフトウェアの基本操作の修得過程を通して、コンピュータによる情報の表現を学ぶとともに、記述統計学を題材にして栄養士業務に必要な不可欠な情報の有効活用を、実践的に学ぶ。さらにインターネットによる情報の収集についても学ぶ。 【データサイエンス、コンピュータ、Windows、Excel、数値関数、論理関数】						
実務経験と教授内容	該当なし			アクティブラーニング	実践演習		
				地域の学修	該当なし		
関連する DP	【DP1】キリスト教的倫理観、教養・知性、汎用的技能						
学修成果の領域	学生の到達目標						
◎ 技能・表現	他者の考えを理解し、自己の考えを明確にして意見交換ができる						
○ 技能・表現	積極的に情報機器を操作して必要な情報加工ができる						
△ 知識・理解	現状の分析と把握ができ、科学的な考え方と推論ができる						
△ 知識・理解	栄養指導に情報機器を利用できる						
回	授業のテーマ及び内容	各回 100 分					
1	オリエンテーション	8	回帰直線				
2	Excel による表の作成	9	論理関数とそれを利用した条件判定				
3	記述統計処理に用いられる数値関数	10	資料の整理1:相関係数				
4	基本統計量の算出	11	資料の整理2:条件判定				
5	階級分類	12	食品群別加重平均成分値				
6	度数分布表	13	総合演習:大量のデータを整理・分析する練習				
7	相関係数の算出	14	総合課題:表とグラフを用いて情報を視覚的に分かりやすく整理する				
評価方法と基準	評価方法	領域	評価の観点				割合
	課題	技能・表現	他者の考えを理解し、自己の考えを明確にして意見交換ができる				50%
		知識・理解	現状の分析と把握ができ、科学的な考え方と推論ができる				10%
	平常点	技能・表現	積極的に情報機器を操作して必要な情報加工ができる				30%
知識・理解		栄養指導に情報機器を利用できる				10%	
教科書	授業時にプリントを配付する						
参考書	定平誠著「例題 50 + 演習問題 100 でしっかり学ぶ Word/Excel/PowerPoint 標準テキスト Windows10/Office2019 対応版」技術評論社						
課題・試験等のフィードバック	課題を次回の授業でコメントをつけて解説する						
予習・復習の内容と時間	授業時に課した演習問題を完成させる 120 分 授業内容を振り返り、次回の授業に備えておく 120 分						
免許・資格	医療秘書実務士称号資格必修科目						
受講要件等	特になし						
オフィスアワー等	毎週金曜日の昼休み						